

2021年4月6日

搭乗橋の完全自動運転化プロジェクト始動！ ～三菱重工交通・建設エンジニアリングと共同開発契約を締結～

当社は、搭乗橋*メーカー大手の三菱重工交通・建設エンジニアリング株式会社と共同開発契約を締結し、「**世界初、人の手を介さず航空機に装着可能な完全自動運転搭乗橋の実現**」に向けて動き出しました。

このプロジェクト第1弾として、搭乗橋の自動運転機能を開発し、4月20日から第2旅客ターミナル67番スポットの搭乗橋にて、運用を開始する予定です。これを皮切りに、今後、「これまで搭乗橋内部でしかできなかった操作を、**タブレット等で遠隔で行う機能**」や、「**2基以上の搭乗橋の同時装着を可能とする機能**」等の開発を進めてまいります。

当社では、今後もグランドハンドリング作業の高度化・効率化を図り、労働力不足に起因する課題解決に貢献する取り組みを積極的に推進してまいります。

*搭乗橋：ターミナルビルと航空機を接続する旅客サービス設備

<プロジェクト第一弾>

自動装着機能付き搭乗橋



<将来的な開発機能のイメージ>



スポットインの情報を
受けて自動で運転開始

【プロジェクト第一弾(自動装着機能)】

- <新機能> 操作卓のレバーを倒すだけで、航空機のドアに自動で装着。
- <供用開始時期> 2021年4月20日（予定）
- <運用する場所> 第2旅客ターミナル67番スポット搭乗橋